



「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族 たかはま」実現への強い意志、具体的な成果をあげることに對するこだわりをもって、全力を傾けてまいります。

平成26年度は、「第6次高浜市総合計画」中期基本計画がスタートする年です。予算編成では「高浜市の今をアシタにつなぐスタート予算」と位置づけ、歳入面では、依然、財源の確保は厳しい状況が続いていますが、歳出面では、前期基本計画の事業内容の検証や一つひとつの事業の総点検により、緊急度・優先度が高い施策に重点を置き、真に必要な事業へ予算づけをしました。

高浜市の強みは「市民と行政の距離が近く、まちへの想いを共有しやすい。力も合わせやすい」という「小さなまち」であること。自分たちのまちを自分たちで創りあげていくためには、市民と行政が「私のまち『高浜市』は、…」と一人称で語り、いっしょに悩み、知恵を絞り、多くの仲間とながっていくことが大切です。ともに高浜市で暮らす私たちは、見えないタスキをかけて走っています。大家族が手を取り、そして、未来へ向けて、この見えないタスキをいっしょにつないでいきましょう。

平成26年度

I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- ❖市の中長期的な政策や、高浜市で暮らす心地よさを高める研究、“自分たちのまちをこうしたい”の実現に向けて協働で取り組む「(仮称)アシタのたかはま研究所」の立ちあげ
- ❖市公式フェイスブックの立ちあげ
- ❖部局ごとに重点的に取り組む項目と推進の決意を公表
- ❖たかはまの魅力をまるごと詰め込み、編集・発信する取り組みを強化
- ❖みんなで力をあわせてまちづくりに取り組む環境づくり(小学6年生を対象とした自治基本条例の出前授業など)
- ❖管理職対象のマネジメント研修や、民間の経営手法などを学ぶための職員派遣の実施
- ❖市役所庁舎のあり方や、高浜小学校校舎建替えなど、今後の公共施設の具体的なあり方について検討
- ❖事務事業の見直しなどに向け、県内各市の行政サービスの実態を調査

II 学び合い 豊かな未来を育もう

- ❖生涯学習講座・教室、地域の達人などの情報をホームページに一元的に掲載
- ❖こども・若者成長応援事業として、市民ムービー「タカハマ物語」の制作を通じて得られた体験を次に活かす取組みを実施
- ❖中高校生自らがイベントの企画や運営を行う事業に対して支援
- ❖「たかはま夢・未来塾」において、新たな担い手を発掘、学ぶ意欲につながる機会を拡大する取組みを実施
- ❖公立幼稚園について認定こども園化を基軸とした民営化の検討
- ❖子どもの自主性を重んじた放課後児童クラブ事業の実施
- ❖妊娠期から子育て期にかけての総合的な支援の実施に向け、関係者が連携し、拠点の設置・活用を含めた対応を検討